



東北大学 大学院理学研究科・理学部

vol.4 東北大学理学部・理学研究科メールマガジン

東北大学理学部長・理学研究科長の寺田眞浩です。

年度末ご多端の折、皆様いかがお過ごしでしょうか。

本学理学部・理学研究科では、年明けから2月にかけて卒業研究発表・学位審査が行われ、卒業・修了予定者にとっては、自身のこれまでの研究成果をまとめ上げて発表する節目の時期となっていました。この時期には、発表する学生だけでなく、研究室・指導教員もより良い研究成果発表に向け、緊張感も高まり、指導にも今まで以上に熱が入ります。卒業研究発表・学位審査が終わった年度末のこの時期には、春休み期間中ということもあり、キャンパスを歩く学生は少ないものの、春らしくなってきた陽気の中、キャンパスは新しい学生との出会いを心待ちにしている雰囲気があります。今年度で卒業・修了する学生には、それぞれ新たな進学・就職先で更なる活躍をしてくれることを切に願っています。

就職状況は本年度も良好です（[速報：理学部・理学研究科就職情報](#)）。学部生のデータは海外進学等の都合もありまだ精査が済んでいませんが、修士の就職率は98.7%、博士の就職率は93.6%です。博士は通年採用ということもあり、修了直後ではなく修了後半年ほど経ってから大学や研究機関で働き始める方も毎年数名おられますので、実態としての就職率は96%ほどになりそうです。就職先を見ると、修士の学生の就職先はやはり民間企業のエンジニアが中心です。大企業に就職する方が多いですが、ベンチャー企業に就職する学生も少し増えてきたように見受けられます。博士の就職先は大学、公的研究機関、民間企業の研究者が中心です。AIやデータサイエンスの社会実装が進んだこともあってか、プログラマーやデータサイエンティストとして、活躍される方が増えてきている印象です。職場も仕事の内容も人それぞれですが、みなさんきっと大学・大学院で鍛え上げた研究力を活かして、それぞれの舞台でご活躍されることだと思います。

さて、最後に理学部長・理学研究科長として、ご挨拶させていただきたく存じます。実は、私は2023年3月をもって、これまで6年間務めてきた理学部長・理学研究科長の任期が終了となります。この6年間を振り返るとあっと言う間というのが正直な思いです。就任してすぐに取り掛かったことは、本研究科の抱えている課題解決に向けた施策を立案することでした。大学運営の基盤的経費削減、評価および競争原理に基づく資金の再配分、18歳人口減、博士課程学生の充足率低迷、女性教員（研究者）増など多様性への対応の遅れ、教員人件費削減による人事凍結、教職員の事務負担増など、抱えている課題は深刻かつ様々でした。これら難題の解決に向けた取り組みで肝に銘じたことは、目先のことに惑わされずに本研究科の目指すべき方向を定めて現有のポテンシャルを最大限に活用・発揮することでした。翌年には本研究科で重点的に対応すべき施策を「理学アクションプラン」にまとめ「1.入学者獲得、2.就

職支援、3.同窓会充実、4.人事制度改革、5.事務組織改組、6.施設整備、7.基金設立」の7項目を掲げ、各施策の関連性を意識して推進してまいりました。2019年度末には学外の識者の皆様から外部評価を受け、「理学アクションプラン」の見直しを図り、さらなる改革を推し進めようとしていた矢先に新型コロナウイルス感染症の蔓延により、教育・研究現場が大混乱する事態となりました。この混乱もおおむね収束し、2023年度からは通常通りとなり、3年前のキャンパス風景を取り戻そうとしています。「一步踏み出すことから始めて好循環を生む」との思いのもと「理学アクションプラン」で計画した様々な施策を推進し、より魅力的な研究科となるべく日々運営に携わってきました。達成状況が必ずしも芳しくない項目もあり、依然として課題は山積みではありますが、一つ一つ乗り越えていけるよう教職員一丸となって取り組む所存です。引き続き、理学部・理学研究科を暖かく見守って頂けると幸いです。

目次

vol.4 (2023年3月配信)

特集 速報！理学部・理学研究科就職情報

1. イベントのご案内

2. 最近の研究トピックス（プレスリリースから）

特集 速報！理学部・理学研究科就職情報



就職の決定、おめでとうございます！

大学生活で得たたくさんの出会い・学びを社会で活かし、皆さんの輝かしい未来とご活躍をお祈りします。

[2022年度就職先一覧](#)

1. イベントのご案内

これから開催される東北大学関連イベントをご紹介します。

【Web・現地】

令和5年度東北大学入学式

日時：2023年4月5日（水）

【第一部：学部新入生】9:45～10:15

【第二部：大学院新入生】11:15～11:45

対象：新入生、ご家族等は新入生1名につき1名まで

※当日式典の様子をインターネットでライブ配信します。

[> 詳しくはこちら](#)

【Web・現地】

東北大学基金 第8回「相続・遺言セミナー」

日時：2023年4月15日（土）

【セミナー】10:30～11:25

【個別相談会】11:45～12:45

対象：ご興味ある方はどなたでもご参加いただけます。

[> 詳しくはこちら](#)

【現地】

東北大学校友会 宮城交流会

日時：2023年4月20日（木）16:00～19:30

対象：東北大同窓生

[> 詳しくはこちら](#)

【Web・現地】

技術者のための医学・医工学教育プログラム EMBEE 2023 年度 受講者募集

日時：2023年5月13日（土）～2024年2月10日（土）

対象：新たに医療機器産業に参入される企業の方、既に医療福祉機器の研究開発・薬事対応等に従事されている社会人技術者

[> 詳しくはこちら](#)

【Web・現地】

東北大学懇談会

理学部・理学研究科においても午後より対面式保護者交流会を行います。

日時：2023年6月17日（土）

対象：在校生及び卒業生の保護者、在校生、卒業生、現旧の教職員、一般の方

備考：詳細は後日 HP でご案内いたします。

[> 詳しくはこちら](#)

【現地】

g-RIPS-Sendai 2023

日時：2023年6月19日（月）～8月8日（火）

対象：大学院生（修士課程、博士課程）を主な対象としていますが、学部生やすでに博士課程を修了した方も応募可能

[> 詳しくはこちら](#)

2. 最近の研究トピックス（プレスリリース・研究成果から）

2023年1月～3月にプレスリリースを行った理学研究科の [研究トピックス](#) をご紹介します。

2023年1月10日

「錬金術師の金」を分子でつくる 史上初の単分子ナノワイヤー直交構造

[> 詳しくはこちら](#)

2023年1月11日

非古典的な核生成が宇宙ダストの形成に重要なことを発見～観測ロケットによる微小重力実験で、天体现象の理解に重要なダスト形成過程が明らかに～

[> 詳しくはこちら](#)

2023年1月19日

アフリカの栽培イネが芒（のぎ）を失った理由～アジアとアフリカで異なる遺伝子の選抜が起きたことを解明～

[> 詳しくはこちら](#)

2023年1月19日

分子一個の電子の磁気信号を検出する技術を開発－分子スピンを利用した量子コンピューターキュービット構築に期待－

[> 詳しくはこちら](#)

2023年1月20日

含窒素芳香族複素環を細胞内構築可能な光反応を発見～機能性分子を光制御する光化学ツールへの応用に期待～

[> 詳しくはこちら](#)

2023年1月24日

プローブの凝集・解離機構を利用し、標的エクソソームを高感度に検出～強い結合力と高い蛍光応答機能を発現～

[> 詳しくはこちら](#)

2023年1月25日

見落とされていた海馬腹側部の神経回路を発見～30年来信じられてきた記憶回路の構造を見直す～

[> 詳しくはこちら](#)

2023年1月26日

K中間子と陽子が織りなす風変わりなバリオンを測定－ $\Lambda(1405)$ ハイペロンの複素質量の直接測定に成功－

[> 詳しくはこちら](#)

2023年1月30日

世界最高感度でのニュートリノを伴わない二重ベータ崩壊探索が新たな節目に到達－物質優勢宇宙の起源の理解へ－

[> 詳しくはこちら](#)

2023年2月6日

「ダビデの星」秩序を持つ原子層金属を発見－ダビデの星の並び方が電子の流れ易さの決め手に－

[> 詳しくはこちら](#)

2023年2月14日

小惑星リュウグウの石から太陽系最初期にできた可能性のある物質を発見ー原始太陽系星雲内側で形成し、太陽から遠いリュウグウ母天体まで運ばれたかー

[> 詳しくはこちら](#)

2023年2月14日

カゴメ格子物質で実現する不純物に強い非従来型超伝導

[> 詳しくはこちら](#)

2023年2月16日

南極の藻類が赤外線で光合成する仕組みを解明。地球外生命の新たな鍵？

[> 詳しくはこちら](#)

2023年2月20日

小惑星リュウグウ試料中の黒い固体有機物

[> 詳しくはこちら](#)

2023年2月20日

炭素質小惑星(162173)リュウグウの試料中の可溶性有機分子

[> 詳しくはこちら](#)

2023年3月2日

マイクロメートルサイズの微小な粉状結晶の電子構造測定に初めて成功ー一次世代半導体開発や微粒子の物性解明のブレークスルーにー

[> 詳しくはこちら](#)

2023年3月2日

分子を構成する原子の速度を測るスピードガンを開発ー"ナノの世界"の力学メカニズムの解明に挑むー

[> 詳しくはこちら](#)

2023年3月2日

無機ナノファイバーに金属原子を挿入する技術を開発ー次世代のエレクトロニクス応用に期待ー

[> 詳しくはこちら](#)

2023年3月6日

ゴルジ体のカルシウムポンプの高分解能構造を決定 金属イオン輸送機構の一端をクライオ電子顕微鏡によって解明

[> 詳しくはこちら](#)

2023年3月14日

STING 炎症シグナルの終結分子機構ー新規細胞内分解システムの発見ー

[> 詳しくはこちら](#)

2023年3月15日

植物の栄養繁殖を制御するホルモンを発見 植物の旺盛な増殖力の起源の解明につながると期待

[> 詳しくはこちら](#)

2023年3月22日

隕石破片の付着力は弱く大きさに依らない—小惑星表面で粒子が動きやすいことを示唆—

[> 詳しくはこちら](#)

2023年3月27日

多くの受容体の内の1つだけに結合する分子を開発 立体異性体で植物の病原菌耐性を活性化する

[> 詳しくはこちら](#)

2023年3月28日

陸の環境崩壊が顕著な小規模大量絶滅の発見

[> 詳しくはこちら](#)

最後までお読みいただき、ありがとうございました。本メルマガでは、皆様に気軽に楽しんでいただけるような内容を心がけております。差し支えなければ、今後も引き続きメルマガをお楽しみいただければと存じます。

個人情報の取得については、[プライバシーポリシー](#)をご確認ください。

もしメルマガの送信を希望されない場合は、[\[購読登録・解除\]](#)をご確認ください。

追伸：本メルマガのニックネームを募集中です！皆様のお知恵をお借りして、チャーミングな名前をつけられればと思います。奮ってご応募ください。採用者には本研究科の「自慢の粗品」をお送りします！！

[配信元]

東北大学理学部・理学研究科 広報・アウトリーチ支援室

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3

E-mail : sci-koho@mail.sci.tohoku.ac.jp

[購読登録・解除]

メール配信の停止をご希望の方は、お手数ですが [こちら](#) から手続きください。

